【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【公表番号】特表2005-533330(P2005-533330A)
【公表日】平成17年11月4日(2005.11.4)
【年通号数】公開・登録公報2005-043
【出願番号】特願2004-520982(P2004-520982)
【国際特許分類】
Ｇ１１Ｂ　20/10　　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　21/24　　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　 5/91　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１１Ｂ　20/10　　Ｈ
Ｇ１１Ｂ　20/10　３１１
Ｇ０６Ｆ　12/14　５５０Ａ
Ｈ０４Ｎ　 5/91　　Ｐ

【手続補正書】
【提出日】平成18年6月22日(2006.6.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
デジタル・メディア・シーケンスをデジタル・メディア・キャリア上に記録することが可能なデジタル・メディア・レコーダを制御する方法であって、
－入力メディア・シーケンスからメディア・サブシーケンスを抽出するステップと、
－前記メディア・サブシーケンスからサブシーケンス・デジタル指紋を計算するステップと、
－前記サブシーケンス指紋を少なくとも１つの第１参照指紋と比較するステップであって、前記第１参照指紋が、１次指紋データベースから取り出され、第１比較値を生成するステップと、
－前記第１比較値に応じて、前記メディア・キャリア上への前記入力メディア・シーケンスの記録を許可及び妨害するステップと、
－前記サブシーケンス指紋を少なくとも１つの第２参照指紋と比較するステップであって、前記第２参照指紋が、２次指紋データベースから取り出され、第２比較値を生成するステップと、
－前記第２比較値に応じて、前記指紋を前記２次データベースに記録するステップと、
－少なくとも前記第１比較値に応じて、前記１次データベースを前記デジタル・メディア・シーケンスが前記メディア・キャリア上に記録されたという前記２次データベースからの情報で更新するステップと、
を有する方法。
【請求項２】
請求項１に記載の方法であって、前記１次指紋データベースは、リスト中の指紋と関連する複製カウント数及び複製制限数を備え、前記サブシーケンス指紋を前記第１参照指紋と比較するステップは、前記複製カウント数と前記複製制限数とを比較するステップを含み、前記１次データベースを更新するステップは、前記指紋と関連する前記複製カウント

数を更新するステップを含む方法。
【請求項３】
請求項１又は２に記載の方法であって、前記１次データベースのサイズを既定の数に制限するために、新しい方のエントリを選んで古い方のエントリを前記１次データベースから取り除くステップを更に有する方法。
【請求項４】
請求項１ないし３の何れかの一項に記載の方法であって、前記１次データベースの前記更新ステップが、前記少なくとも１つのメディア・シーケンスの前記記録ステップが完了されるか否かに依存する方法。
【請求項５】
請求項１ないし４の何れかの一項に記載の方法であって、前記記録の前記妨害ステップが、前記記録ステップを中断させる、前記記録の品質を低下させる及び前記妨害ステップを使用者に知らせるアクションの少なくとも１つを含む方法。
【請求項６】
請求項１ないし５の何れかの一項に記載の方法であって、前記サブシーケンスの前記抽出ステップは、既定の時間間隔において抽出するステップを含み、前記時間間隔は、少なくとも部分的に前記メディア・シーケンスの形式によって決定される長さを有する方法。
【請求項７】
デジタル・メディア・シーケンスをデジタル・メディア・キャリア上に記録することが可能なデジタル・メディア・レコーダであって、
－前記サブシーケンス指紋を少なくとも１つの第２参照指紋と比較するための手段であって、前記第２参照指紋が、２次指紋データベースから取り出され、第２比較値を生成するための手段と、
－前記指紋を前記第２データベースに記憶するための手段と、
－入力メディア・シーケンスからメディア・サブシーケンスを抽出するための手段と、
－前記メディア・サブシーケンスからサブシーケンス・デジタル指紋を計算するための手段と、
－前記サブシーケンス指紋を少なくとも１つの第１参照指紋と比較するための手段であって、前記第１参照指紋が、１次指紋データベースから取り出され、第１比較値を生成するための手段と、
－前記第１比較値を分析するための手段と、
－前記入力メディア・シーケンスを前記メディア・キャリア上に記録するための手段と、
－前記第１比較値に応じて、前記メディア・キャリア上への前記入力メディア・シーケンスの記録を妨害するための手段と、
－前記１次データベースを前記デジタル・メディア・シーケンスが前記メディア・キャリア上に記録されたという前記第２データベースからの情報で更新するための手段と、
を有するデジタル・メディア・レコーダ。
【請求項８】
請求項７に記載のレコーダであって、前記１次指紋データベースは、リスト中の指紋と関連する複製カウント数及び複製制限数を備え、前記サブシーケンス指紋を前記第１参照指紋と比較するための前記手段は、前記複製カウント数と前記複製制限数とを比較するための手段を含み、前記１次データベースを更新するための前記手段は、前記指紋と関連する前記複製カウント数を更新するための手段を含むレコーダ。
【請求項９】
請求項７又は８に記載のレコーダであって、前記１次データベースのサイズを既定の数に制限するために、新しい方のエントリを選んで古い方のエントリを前記１次データベースから取り除くように構成されるレコーダ。
【請求項１０】
請求項７ないし９の何れかの一項に記載のレコーダであって、前記１次データベースを

更新するための前記手段が、前記少なくとも１つのメディア・シーケンスの前記記録が完了されるか否かを確定することが可能な手段に基づいて動作するように構成されるレコーダ。

【請求項１１】

請求項７ないし１０の何れかの一項に記載のレコーダであって、前記妨害手段は、前記記録ステップを中断させる、前記記録の品質を低下させる及び前記妨害ステップを使用者に知らせるアクションの少なくとも１つを行うことが可能である妨害する手段を備えるレコーダ。

【請求項１２】

請求項７ないし１１の何れかの一項に記載のレコーダであって、前記サブシーケンスを抽出するための手段は、既定の時間間隔において抽出をするための手段を含み、前記時間間隔は、少なくとも部分的に前記メディア・シーケンスの形式によって決定される長さを有するレコーダ。

【請求項１３】

請求項７ないし１２の何れか一項に記載のレコーダを備える計算機。